

ナンバリング	A②08	科目名	フィールドワーク(自然と環境) 「キャンプインストラクターになろう」
担当形態	単独	担当教員	古賀 琢也
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②, ③		
テキスト	キャンプ指導者入門 第5版		
開講時期	集中	単位数・ 授業形態	2単位・演習
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプの意義や安全について理解できる。</li> <li>・宿泊活動やキャンプの指導に必要な知識や技術を身に付け、プログラムの指導ができる。</li> <li>・道具の扱い方やプログラムへの理解を深め、臨機応変に行動する力を身に付ける。</li> </ul>		
授業の概要	<p>幼児期から身近な自然と親しむことには多様な意義があり、保育現場においても宿泊や野外活動伴う実践に携わることがある。理論と実技を通して宿泊活動やキャンプの指導に必要な知識や技術を体系的に学び、自然の中で過ごす豊かさを伝えられるようになることを目指す。この授業を履修することでキャンプインストラクターの資格取得に必要な課程を修めることができる。</p> <p>キャンプインストラクターは、キャンパー個人やグループに対して、キャンプのプログラム等の指導を行う役割を担うことができる指導者として認められる資格である。キャンプの意義やキャンプの安全などの知識を学ぶとともに、実際にキャンプのアクティビティを体験しながら、プログラムの指導についても学ぶ。</p>		
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション、組織キャンプのイメージを膨らませる 【理論編】</p> <p>第2回 キャンプの特性・ねらいと内容</p> <p>第3回 キャンプの対象</p> <p>第4回 キャンプの指導・安全 【実技編】</p> <p>第5回 テントを立ててみよう、ロープワーク</p> <p>第6～13回 宿泊演習(一泊二日)</p> <p>1. キャンプの安全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールド調査(現地踏査)</li> <li>・危険予知とその対処</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファーストエイドの実際</li> <li>2. キャンプの生活技術 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テント設営</li> <li>・野外炊事</li> <li>・工具及び道具使用法</li> <li>・天気予報、観天望気</li> </ul> </li> <li>3. さまざまなアクティビティ</li> </ul>				
準備学習と必要時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの指定された箇所を読んでおく</li> <li>・必要な準備や調べ学修をしておく(必要時間 60 分)</li> </ul>				
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動への参加 — 50%</li> <li>・グループワーク等での積極性 — 20%</li> <li>・小テスト — 30%</li> </ul>				
参考文献	授業中に適宜示します。				
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日の集合・解散時間は、打ち合わせで検討し、決定します。</li> <li>・テキスト代 2,200 円、施設(千葉市少年自然の家)利用料 800 円、リネン代 1,600 円程度、活動中の食材費 3,500 円程度、活動にかかる費用(活動によって異なる)等を「目的別研修費」より支出します。</li> <li>・希望者は、「日本キャンプ協会 キャンプインストラクター」の資格を取得できます。登録・事務手数料、協会入会金などで 15,300 円が別途必要となります。</li> <li>・活動に合わせた服装で臨んでください</li> <li>・雨天決行、荒天延期。</li> </ul>				
課題へのフィードバック方法	試験後、模範解答を提示して解説を行います。 また、レポート等にはコメントを加え返却します。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状		
	その他		保育士資格	選択	教養科目
教員の実務経験	保育所、認定こども園での実践経験を踏まえ、保育における宿泊や野外活動で意識する点や子どもの感性について事例を交えながら解説する。				